

# 大島大橋 個別補修計画

---



---

令和4年度版

## 架橋箇所



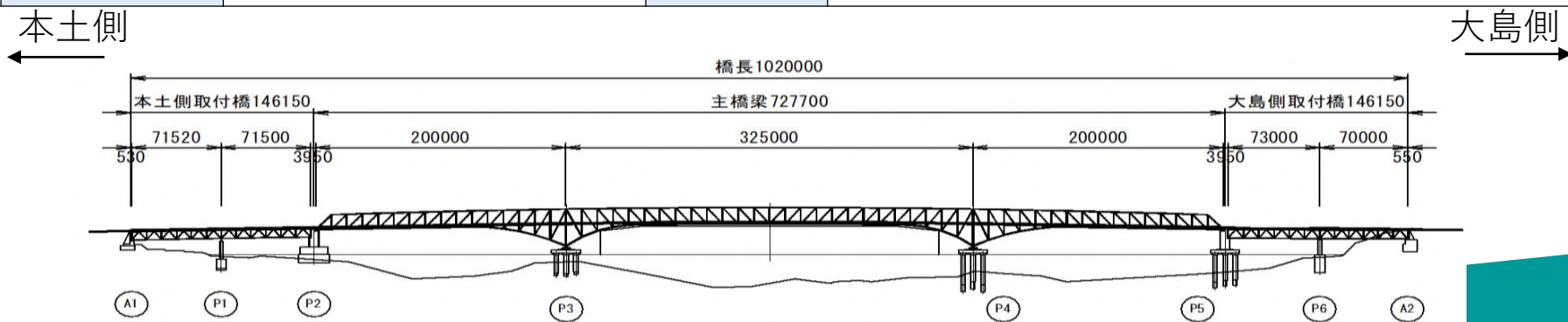
大島郡周防大島町小松～柳井市神代  
(緯度33.95385, 経度132.18563)



「この地図は、国土地理院の地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである」

## ■ 橋梁諸元

管理事務所	柳井土木建築事務所	橋 種	鋼橋
路 線 名	一般国道437号	径 間	7径間
橋 長	1020.0m	上 部 工 式	鋼2径間連続上路式トラス(第1-2径間) 鋼3径間連続下路式下弦曲弦トラス(第3-5径間) 鋼2径間連続上路式曲線トラス(第6-7径間)
幅 員	8.9m (全幅員)	下 部 工 式	逆T式橋台 (A1, A2) 矩形柱壁式橋脚 (P1, P2, P6) 矩形柱中空壁式橋脚 (P5)
架 橋 年	1976年 (昭和51年)	基 礎 工 式	箱型オープンケーソン基礎 (A1, A2) 小判型オープンケーソン基礎 (P1) 円形重力式直接基礎 (P2) 多柱式基礎 (鋼管杭, P3-P5) 小判型ニューマチックケーソン基礎 (P6)
交 物 差 件	航路 JR山陽本線 一般国道188号		



## ■計画期間

- ・ 100年

## ■計画の見直し

- ・ 10年以内

## ■維持管理方針

- ・ 「予防保全型」維持管理

## ■部材毎の維持管理方針

鋼 上 部 工	予 防 保 全	高 欄	事 後 保 全
検 査 路	予 防 保 全	支 承	予 防 保 全
R C 床 版	予 防 保 全	伸 縮 装 置	予 防 保 全
下 部 工	予 防 保 全	排 水 装 置	事 後 保 全
基礎工 (Con)	事 後 保 全	道 路 照 明	事 後 保 全
基礎工 (鋼)	予 防 保 全	防 衝 工	予 防 保 全
舗 装	事 後 保 全		

## ■維持管理上の留意事項

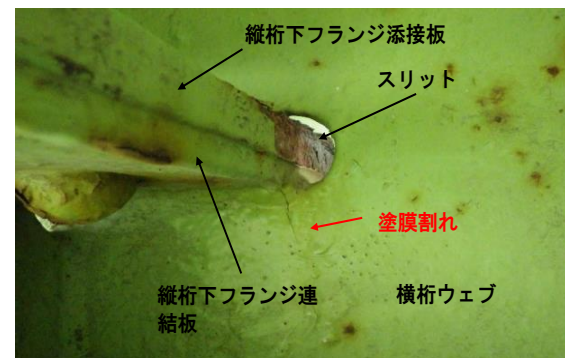
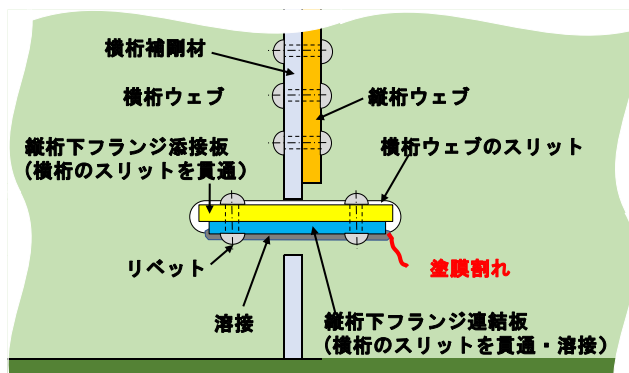
### ・トラス構造

➤添接部・格点部の腐食



### ・縦桁下フランジの横桁ウェブ貫通部

➤疲労亀裂が生じやすい構造



## ■維持管理上の留意事項

### ・橋脚のひび割れ

- 既設橋脚膨張（アル骨）によるひびわれ



### ・その他

- 塩害による損傷
- 伸縮装置からの漏水による支承等の腐食
- F11Tの遅れ破壊

F11Tの遅れ破壊による  
ボルトの脱落



支承の腐食状況



## ■点検計画

- ・ 山口県橋梁点検要領（案）に基づき、5年に1回の頻度で点検を実施

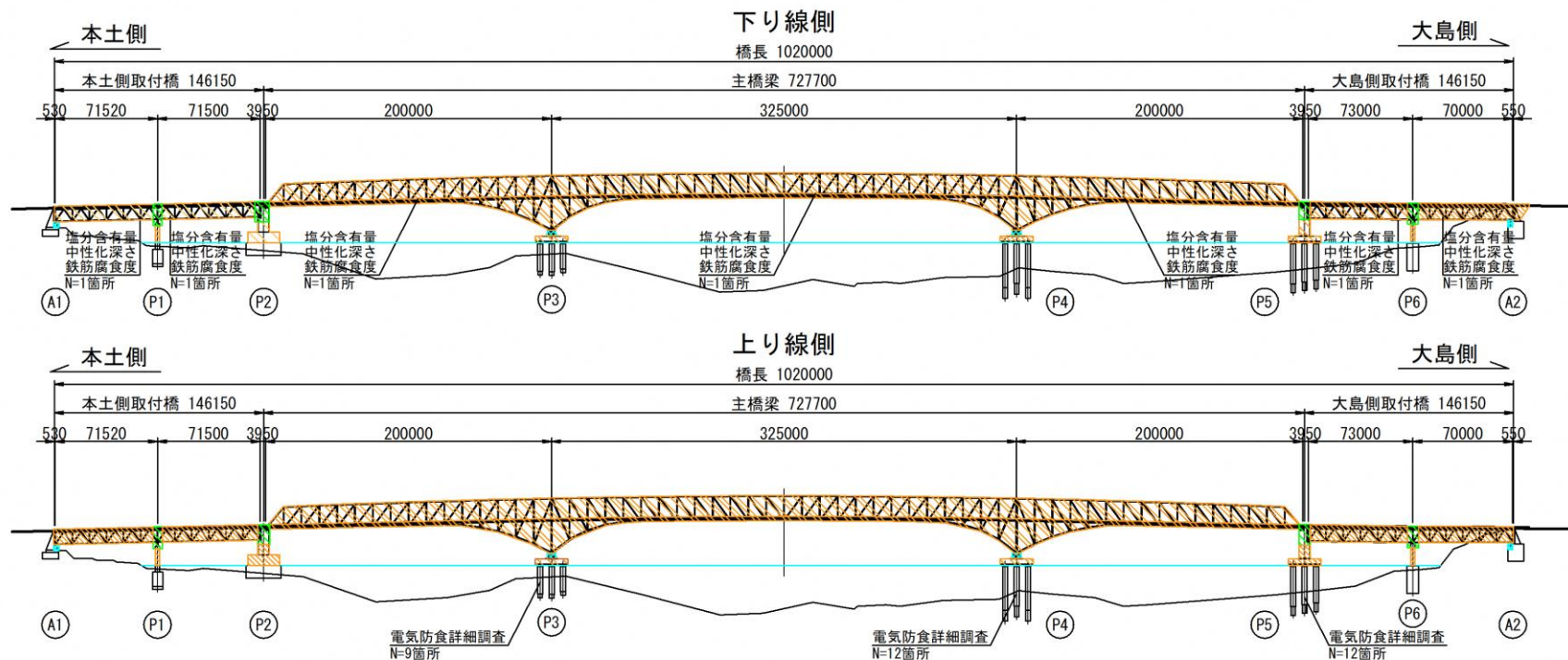
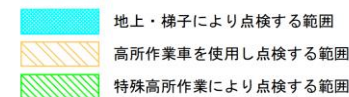
※地震など緊急時については適宜実施

- ・ 特定部位（添接部・格点部）に特化した点検と記録
- ・ 橋の状態を定期的に把握するため、デジタル技術を活用し、データを蓄積

## ■調査計画

- ・ RC床版について次回点検時に塩分含有量、中性化深さ、鉄筋腐食度を調査
- ・ 鋼管基礎について10年に1回の頻度で電気防食材（陽極）の詳細調査
- ・ 橋脚のひび割れについて、追跡調査を実施

## 点検・調査方法



●ドローンによる全体の点検



- 左記を基本とするが、下記箇所は直接、視認等により点検を実施する
- 容易に視認できる箇所
- 橋座部
- ドローンにより視認できない箇所
- 損傷の程度等により必要と判断される箇所



## ■補修方針

- 2031年までに一定の大規模補修を完了
- 2032年から予防保全型の維持管理を実施

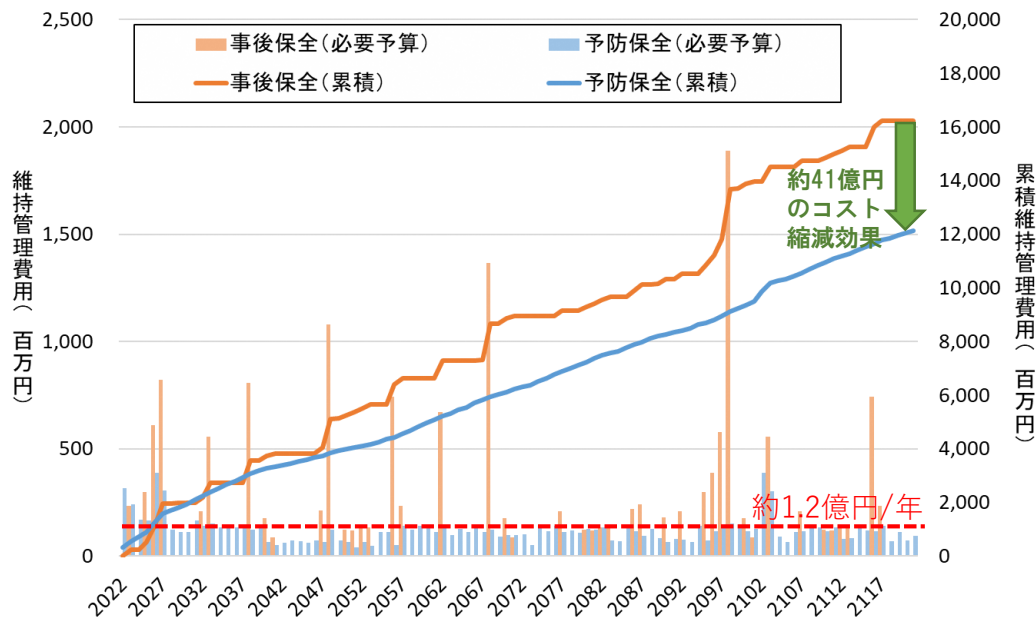
本土側 ←

→ 大島側

側面図	橋長1020000												点検・調査			
	主橋梁727700												定期	鋼管	鋼管	
区間名	鋼2径間連続上路式トラス橋			鋼3径間連続下路式下弦曲トラス橋						鋼2径間連続上路式曲線トラス			点検	鋼管	鋼管	
上部工	A1-P1	P1-P2	P2-P3						P3-P4	P4-P5	P5-P6	P6-P7	点検	鋼管	鋼管	
区間長	71.5m	71.5m	200.0m						325.0m	200.0m	73.0m	70.0m	一般	基礎	基礎	
下部工	A1	P1	P2	P3						P4	P5	P6	詳細	一般	詳細	
2022年		塗装塗替														
2023年		塗装塗替														
2024年		床版補修 剥落防止工														
2025年		ひびわれ 補修	ひびわれ 補修	ひびわれ 補修						ひびわれ 補修	ひびわれ 補修	ひびわれ 補修				
2026年																
2027年																
2028年																
2029年																
2030年																
2031年	伸縮装置 取替	高欄 高欄塗替	高欄 高欄塗替													
	検査路	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替	検査路塗替				
2121年	伸縮装置															

※点検・調査結果や予算状況により変更の可能性がある

## ■ 予算



■ 予算の平準化

■ 100年間で  
維持管理費  
約41億円の  
縮減

## ■ 安全

■ 架橋環境（塩害地域）、  
構造特性に応じた確実  
な点検、調査

■ 異状箇所の  
早期発見